

東北海区沿岸水温予報(2023年)

海域	経過 (9～11月)	現況(11月上旬～ 12月上旬)	見通し (12月～2月)	見通しの背景	特異現象 (漁海況)
三陸北部 (青森県太平洋沿岸; 青森水総研発表)	<p>・定地水温:9月は高め～極めて高め、10月、11月は平年並み～高めで推移した。</p> <p>・津軽暖流の各層水温は0m層、50m層で極めて高め、100m層でやや高め、水塊深度はやや浅め、津軽暖流の東方への張り出しはやや東偏であった。</p>	<p>・定地水温:11月上旬はやや高め、中旬、下旬は平年並みとなり、12月上旬は平年並み～やや高めとなった。</p> <p>・12月の海洋観測の結果、津軽暖流の0m層、50m層、100m層の最高水温は、各層とも平年並みであった。また、津軽暖流の水塊深度、東方への張り出しとも平年並みであった。</p>	<p>・津軽暖流域の水温は平年並～高めで推移する。</p>	<p>・日本海の12月分観測の結果、対馬暖流域の0m層、50m層、100m層の最高水温はやや高めであった。</p> <p>・FRA-ROMS IIによると、津軽暖流域は概ね平年並みで推移すると予測されている。</p>	<p>特になし</p>
三陸中部 (岩手県沿岸; 岩手水セ発表)	<p>9月:8/29～9/6 《表面水温》 10海里以内は23～26℃台であり、黒埼、尾埼、樺島定線で「極めて高い」、トドヶ埼定線で「高い」となった。 20～50海里は23～28℃台であり、黒埼、尾埼定線で「やや高い」、トドヶ埼定線で「平年並」～「やや高い」、樺島定線で「高い」～「極めて高い」となった。 《100m深水温》 10海里以内は9～15℃台であり、黒埼定線で「高い」～「極めて高い」、トドヶ埼定線で「平年並」～「極めて高い」、尾埼定線で「やや低い」～「やや高い」、樺島定線で「平年並」となった。 20～50海里は3～13℃台であり、黒埼定線で「やや低い」～「高い」、トドヶ埼定線で「やや低い」～「やや高い」、尾埼定線で「やや高い」～「極めて高い」、樺島定線で「やや高い」～「高い」となった。</p> <p>10月:9/25～9/27 《表面水温》 10海里以内は22～23℃台であり、黒埼、トドヶ埼、尾埼定線で「極めて高い」、樺島定線で「高い」～「極めて高い」となった。 20～50海里は21～23℃台であり、黒埼定線で「高い」～「極めて高い」、トドヶ埼、尾埼、樺島定線で「やや高い」～「高い」となった。</p> <p>《100m深水温》 10海里以内は14～15℃台であり、黒埼定線で「平年並」～「高い」、トドヶ埼定線で「平年並」～「極めて高い」、尾埼、樺島定線で「平年並」～「やや高い」となった。 20～50海里は6～15℃台であり、黒埼定線で「やや高い」～「極めて高い」、トドヶ埼定線で「やや低い」～「極めて高い」、尾埼定線で「平年並」～「高い」、樺島定線で「やや低い」～「やや高い」となった。</p> <p>11月:11/1～11/9 《表面水温》 10海里以内は16～20℃台であり、黒埼定線で「やや高い」、トドヶ埼定線で「やや高い」～「極めて高い」、尾埼定線で「やや高い」～「高い」、樺島定線で「やや高い」～「極めて高い」となった。 20～50海里は16～23℃台であり、黒埼定線で「やや高い」、トドヶ埼定線で「やや高い」～「極めて高い」、尾埼、樺島定線で「高い」～「極めて高い」となった。</p> <p>《100m深水温》 10海里以内は13～17℃台であり、黒埼定線で「平年並」、トドヶ埼、尾埼、樺島</p>	<p>12月:11/27～12/1 《表面水温》 10海里以内は13～18℃台であり、黒埼定線で「平年並」～「やや高い」、トドヶ埼、尾埼定線で「やや高い」～「極めて高い」、樺島定線で「やや高い」となった。 20～50海里は、10～21℃台であり、黒埼定線で「やや低い」～「平年並」、トドヶ埼定線で「平年並」～「極めて高い」、尾埼定線で「極めて高い」、樺島定線で「高い」～「極めて高い」となった。</p> <p>《100m深水温》 10海里以内は13～15℃台であり、黒埼定線で「平年並」～「やや高い」、トドヶ埼定線で「やや高い」～「高い」、尾埼、樺島定線で「やや高い」となった。 20～50海里は4～21℃台であり、黒埼定線で「低い」～「やや低い」、トドヶ埼定線で「平年並」～「極めて高い」、尾埼定線で「高い」～「極めて高い」、樺島定線で「平年並」～「極めて高い」となった。</p>	<p>1月の100m深水温の平年値は、沿岸10海里以内は8～10℃台、20～50海里は7～9℃台。黒埼定線の5～40海里は「平年並」と予測され、それ以外は、「やや高い」～「高い」と予測された。 各0海里定点における10m深水温の予測値は9～12℃台であり、黒埼で「平年並」、トドヶ埼で「やや高い」、尾埼、樺島で「高い」と予測された。</p>	<p>農林水産省「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」において開発した、水温経験的予測システムを用いて解析した。</p>	<p>・9/25に津軽暖流が主因と考えられる急潮が発生。 12/2～12/3には、黒潮続流が主因と考えられる急潮が発生。どちらも定置網の破網被害などが生じた。</p> <p>・9～11月の、定置漁業におけるキハダ、カツオの水揚量は1995年以降最多となった。 (キハダ:12.6トン、カツオ:72.2トン)</p> <p>一方、サケは1995年以降最低となった。 (26.1トン)</p>

	定線で「やや高い」となった。 20～50海里は10～23℃台であり、黒埼定線で「平年並」～「極めて高い」、トドヶ埼定線で「やや高い」～「極めて高い」、尾埼、椿島定線で「高い」～「極めて高い」となった。				
三陸南部 (宮城県沿岸； 宮城水セ発表)	【9月】 宮城県沿岸の表面水温および100m深水温は11～27℃台であり、平年水温と比べ、表層および100m深水温で1～6℃高く、142° E以東付近の表層で最大5℃、100m深水温では最大6℃高い傾向。 【10月】 宮城県沿岸の表面水温および100m深水温は17～25℃台であり、平年水温と比べ、表層および100m深水温で2～11℃高く、142° 50' E以東付近の表層で最大5℃、100m深水温では最大11℃高い傾向。 【11月】 CTD故障のため欠測。	黒潮統流の北上に伴う暖水波及の影響により、本県沿岸水温は高めで、特に仙台湾では表層、海底直上水温が平年値を上回り、高めで推移している。また、沿岸100m深水温は、黒潮統流域付近の142° E以東で高い傾向。	141° ～142° E100m深水温は、平年値に対し、平年並み～やや高めで推移し、142° E以東では、平年値に対し、やや高い～高い見込み。	偏差持続、自己回帰係数固定モデルによる。 FRA-ROMS参照。 気象庁各種データ資料 親潮域100m深水温参照。	
常磐北部 (福島県沿岸； 福島水海セ発表)	100m深水温 【9月】 北部海域は「やや高い」 中部海域は「高い」 南部海域は「高い」 黒潮統流(200m深14℃以上)は確認されなかった。 【10月】 北部海域は「やや高い」 中部海域は「高い」 南部海域は「極めて高い」 黒潮統流は塩屋埼定線(南部海域)の距岸50海里、富岡定線(中部海域)の距岸60海里、鶯ノ尾埼定線(北部海域)の距岸70海里に確認された。 【11月】※2 北部海域は「やや高い」 中部海域は「平年並み」 南部海域は「平年並み」 黒潮統流は確認されなかった。 ※ 北部:37° 50'N 中部:37° 25'N 南部:37° 00'N ※2 11月の海洋観測は距岸30海里以内の定点のみ。	100m深水温 【12月】 北部海域は「やや高い」 中部海域は「やや高い」 南部海域は「やや高い」 黒潮統流は富岡定線の距岸70海里、鶯ノ尾埼定線の距岸60海里に確認された。	【12月】 「高い」～「極めて高い」 【1月】 「高い」～「極めて高い」 【2月】 「やや高い」～「高い」	<ul style="list-style-type: none"> FRA-ROMS IIの予測によると、12～1月の福島県海域142° 00'E以西における100m深水温は、平年差+1℃～+5℃の領域が大半を占めており、「高い」～「極めて高い」に相当している。 FRA-ROMS IIの2月の100m深水温予測において、黒潮系暖水が波及していることから、水温の高い状態が継続すると考えられる。 気象庁の「海面水温・海流1か月予報」(令和5年12月8日発表、対象期間12月9日～1月10日)によると、本州東方の海面水温は「平年よりかなり高い」とされている。 	令和5年1～10月の期間で50海里以内の100m深水温はすべての月で平年差+3℃以上を継続している。(平年値:1991年1月～2022年12月における100m深の水温平均値)
常磐南部 ～鹿島灘 (茨城県沿岸； 茨城水試発表)	9月:黒潮からの暖水の影響により、0m深では全域で「やや高め」、50m以深では「平年並～高め」(黒潮本流が流れる本県沖合域では「高め～極めて高め」となった。 10月:黒潮からの暖水の影響により、0m深では全域で「やや高め～高め」、50m以深では「平年並～高め」(黒潮本流が流れる本県沖合域では「高め～極めて高め」となった。 11月:黒潮からの暖水の影響により、全層で概ね「平年並～高め」(黒潮本流が流れる本県沖合域では「高め～極めて高め」となった。	黒潮からの暖水の影響がみられ、0m深は16～22℃台、100m深は15～21℃台で、全層で概ね「平年並～やや高め」となった。	本県沿岸域への親潮系冷水の影響は小さいと考えられる。 黒潮からの断続的な暖水の影響により、0m深で「平年並～やや高め」、50m以深で「平年並～高め」(黒潮本流が流れる本県沖合域では「高め～極めて高め」)で推移すると考えられる。	FRA-ROMS IIによる。	黒潮の北偏傾向が継続しているため、底曳網や建網で漁獲されるカレイ類、ヒラメ等の水揚げが低調となっている。さば類の漁獲が低調となっている。

各階級の水温平年偏差の範囲

階級区分(出現率)	三陸北部	三陸中部		三陸南部	常磐北部	常磐南部～鹿島灘
		距岸10海里内	距岸10～70海里			
極めて高い(2.5%)	+3.3℃～	+3.8℃～	+6.1℃～	+5.8℃～	+4.9℃～	+6.1℃～
高い(7.5%)	+2.2～+3.2℃	+2.4～+3.7℃	+3.9～+6.0℃	+3.8～+5.7℃	+3.2～+4.8℃	+4.0～+6.0℃
やや高い(20%)	+0.9～+2.1℃	+1.0～+2.3℃	+1.6～+3.8℃	+1.5～+3.7℃	+1.3～+3.1℃	+1.6～+3.9℃
平年並(40%)	+0.8～-0.8℃	+0.9～-0.9℃	+1.5～-1.5℃	+1.4～-1.4℃	+1.2～-1.2℃	+1.5～-1.5℃
やや低い(20%)	-0.9～-2.1℃	-1.0～-2.3℃	-1.6～-3.8℃	-1.5～-3.8℃	-1.3～-3.1℃	-1.6～-3.9℃
低い(7.5%)	-2.2～-3.2℃	-2.4～-3.7℃	-3.9～-6.0℃	-3.8～-5.7℃	-3.2～-4.8℃	-4.0～-6.0℃
極めて低い(2.5%)	-3.3℃～	-3.8℃～	-6.1℃～	-5.8℃～	-4.9℃～	-6.1℃～

1991年1月～2020年12月の100m深度の観測水温を基に階級区分している